

生理学：代謝

41-034 基礎代謝量 (kcal/m²・時) で誤っているのはどれか。

1. 男性より女性が低い。
2. 小児期は高い。
3. 高齢期になると低下する。
4. 食物摂取によって低下する。増加する。
5. 睡眠中は低下する。

42-034 誤っているのはどれか。

1. 基礎代謝量は安静臥床で計測する。空腹時安静臥床で覚醒状態を計測する。
2. 基礎代謝量は体温の上昇によって増加する。
3. 基礎代謝量は同性、同年齢ならば体表面積に比例する。
4. 代謝等量(METs)は、作業時代謝量÷基礎代謝量で表す。安静時代謝量
5. 食後の消費エネルギー増加は、脂質摂取に比べ蛋白質摂取で大きい。* 基礎代謝量で割るのはエネルギー代謝率(RMR)

43-033 正しいのはどれか。2つ選べ。99

1. 成人では体内のカルシウムの60%が骨に貯えられている。
2. 副甲状腺ホルモンは腎のカルシウム再吸収を増加させる。腎のカルシウムの再吸収を増加させることにより血中カルシウム濃度を上げる。
3. ビタミンDは腸管からのカルシウム吸収を減少させる。
4. 食後の血中カルシウム濃度は空腹時の約2倍になる。増加。
5. カルシウムは興奮・収縮連関に関与する。ほとんど変わらない。筋の収縮

44-034 基礎代謝について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 睡眠中は減少する。
2. 1~3歳で最も低くなる。高く
3. 怒りや恐怖によって減少する。増加 * 交感N活動で増加
4. 体温の変化に影響されない。の上昇で高くなる。
5. 同性・同年齢では体表面積に比例する。

45-P-069 代謝で誤っているのはどれか。

1. 呼吸商(RQ)は摂取する栄養素によって異なる。糖:1.0, 脂:0.7, 蛋白質0.8
2. 特異動的作用(SDA)とは食物摂取後の体温上昇である。たんぱく質摂取で最も体温が上昇
3. 基礎代謝量(BM)は同性、同年齢ならば体表面積に比例する。
4. エネルギー代謝率(RMR)は基礎代謝量を基準とした運動強度である。
5. 代謝当量(MET)は安静臥位時の代謝量を基準とした運動強度である。座位 安静座位=1MET

48-A-068 基礎代謝率について正しいのはどれか。

1. 発熱時には増大する。
2. 食物摂取後減少する。増加
3. 男性よりも女性で高い。低い
4. 加齢とともに増大する。低下
5. 不安感があると減少する。増加

49-P-066 糖質代謝について正しいのはどれか。

1. ビタミン C が補酵素として関与する。 *B1. 脂質代謝には B2 が、蛋白質代謝には B6 が関与する。*
2. 酸化リン酸化によって乳酸を生じる。 *角質糖*
3. 中枢神経は脂肪酸をエネルギー源とする。 *グルコース(ブドウ糖)* * グルコースが足りない時は肝臓で糖新生し、グルコースを作る。
4. グルカゴンは糖新生系の生合成を促進する。
5. 甲状腺ホルモンは糖質代謝には関係しない。 *を促進する。*

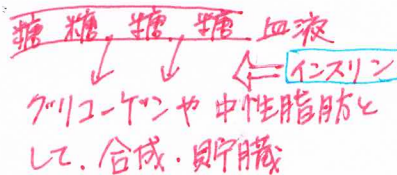
49-P-068 基礎代謝について正しいのはどれか。

1. 男性は女性より低い。 *高い*
2. 過食によって低下する。 *増加*
3. 老化に伴い上昇する。 *低下*
4. 寒冷の環境に慣れた人は低下する。 *増加* * 環境温が低いと基礎代謝量は上がる。(体温維持するため)
5. 副腎髄質ホルモンによって上昇する。
アドレナリン、ノルアドレナリン。

50-P-068 基礎代謝について誤っているのはどれか。

1. 安静臥床で計測する。
2. 体温の上昇によって増加する。
3. 同性、同年齢ならば体表面積に比例する。 *安静時代代謝量*
4. 代謝当量 (METs) は、作業代謝量 ÷ 基礎代謝量で表す。
5. 食後の消費エネルギー増加は、脂質摂取に比べ蛋白質で大きい。

・ 血糖値を下げるというときは、



・ 血糖値を上げるというときは
= エネルギーとして使う

